

は〜とふる 日光



ふるさとの元気を増やそう、
日光の将来を考えよう、
地域おこし協力隊といっしょに。



特集

地域おこし協力隊

～自分らしさと、地域の魅力で、地域おこし～

地方における地域の存続が、将来、危ぶまれているこの時期、私たちの住む日光のあちこちで、キラリと光る働きを続けている精鋭たちがいます。この度はその「地域おこし協力隊」の皆さんを紹介いたします。日光市民もこの機会に、さらに奮起していただければと思います。

※地域おこし協力隊については、市の広報紙12ページにも掲載しています。

地域対心協力隊



足尾地域



足尾の工芸品

活動内容

- 生活史の冊子づくり…住民の皆さんから聞いた、足尾の様々なお話を紹介する冊子
- 孝行猿(工芸品)を復活させよう
…ものづくりを通して足尾を知ってほしい
- 情報発信…庁舎内展示、協力隊だより発行
観光看板のバージョンアップ
- 高齢化対策事業…特に高齢化が進む地域での、レクリエーションの実施
- 地域の行事や、団体の活動のお手伝いなど

協力隊になる、きっかけは？

志村隊員：足尾に興味がありました。教科書で公害の発祥の地としか知らなかったのが、実際に住んでいる人達のことを知りたいと思いました。

中山隊員：大学で途上国のまちづくりを学んで、日本の高齢化、過疎化が進む地域でのまちづくりに興味がありました。

2年間の活動を続けてきて

志村隊員：住民の経験談や足尾の思い出を聞かせてもらい、生の情報に触れられることがすごく

うれしい。そういう貴重なことを形に残していきたい。歴史が深い分、話の内容を正確に受け止めきれない点や、問題の捉え方の違いに難しさはありますが、続けていきたいと思っています。

中山隊員：1年目は住民との関係を築くこと、2年目からは、そこから見えてきたことで活動しています。足尾でしか聞けない話、そして足尾だけでなく、これからの日本として考えていかなければならない問題を、今のうちから考えられるようになりました。親孝行しなければいけない。足尾いいな！

足尾のみなさん！

昔の話、今の話、あなたの生活の記憶を、ぜひ聞かせてください。古い写真や資料も見せてください。
☆庁舎内の展示スペースに、展示してほしいものや企画も募集しています。

足尾いいな！



しむら はるみ
志村 春海 隊員
(宮城県出身)



なかやま けい
中山 京 隊員
(千葉県出身)

三依地区 (藤原地域)



ヒマラヤの青いケシ

昨年4月に協力隊になった中井隊員と蟹江隊員を訪ねました。

大学で畑での野生動物の被害を抑える勉強をしてきたことを活かした仕事をしたいと思い応募しました。

獣害被害は個人の問題ではなく、集落・地域の問題ということを地域住民に分かってもらい、獣が来たらどのような対策を行うかなど、地域住民みんなで行う動きになればいいと考えています。

クマもサルもイノシシも出ますが、一番被害感情を逆なでするのはサルです。今はサル対策を中心に活動しています。花火や爆竹で追い払ったり、中井隊員の畑の周りに柵を設置して人馴れの具合や、柵の有効性を調べたりしています。



かにえ みく
蟹江 美来 隊員
(愛知県出身)

三依情報を発信中！

- ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/miyorinikko/>
- フェイスブック <https://www.facebook.com/nikko.miyori>

介護職員として働いている中で、その施設のルールだけしか知らずにいるより、いろいろな経験をしたくて考えて応募しました。地域で考える福祉を学びたいと考えています。

今年は1年目で、今あるサポートを通じて、地域住民と出会う活動をしています。週1回診療所に先生が来る時に住民の有志で送迎をされています。その送迎や公民館事業のサポートなどを行っています。

3年後に何か1つのことを成し遂げるといより、完成させるのは住民の方々なので、完成に向けて道を作ること、何か1つでも問題を解決するのに必要な提案をすることができるかというと思います。



なかい まさゆき
中井 正幸 隊員
(北海道出身)

栗山地域

栗山地域には3人の協力隊員がいます。初年度から活動し、地域おこし協力隊の先駆者ともいえる青山隊員と土屋隊員、ボランティア活動に奔走する2年目の清水隊員です。この3人が観光や福祉に分かれ様々な事業に取り組んでいます。



お土産に、平家Tシャツなども考案しました。



あおやま ひろゆき
青山 裕之 隊員
(群馬県出身)

栗山地域の大きな特色である自然の豊かさに注目し、アウトドア体験「鬼怒川源流・栗山ツアー」の企画に携わりました。カメラ、トレッキング、スノーシュー等秘境栗山ならではの魅力がいっぱいです。ポスターも栗山限定のTシャツ・タオルも考案しました。前職の経験を活かし観光サイト「5秒でくりやま」を立ち上げ、栗山の「すごいんだぞ!」を発信しています。栗山観光サイト：9r8m.jp

広告制作会社でホームページを中心に制作しており、それを地域振興に活かしたいと考えました。テーマを自ら設定して活動することは難しいけれどやりがいを感じます。栗山の人たちに喜んでもらえたらうれしい。

人と人を結び、自治会の枠を超えた「栗そば会」の組織を作り、栗山といえば、そば!を復活させることに取り組めました。協力して行う作業の楽しさは鳥獣害の被害を越えて、そばの実の大きな収穫につながりました。農地を守り、人の輪も育てているこの取り組みはいくつもの新聞に取り上げられ、活動の励みになりました。



つちや さえ
土屋 小枝 隊員
(静岡県出身)

東日本大震災後に福島でコミュニティが分断された方々と係わるボランティア活動をしました。そば作りを通して、17ある地区や年代を越えて新しい繋がりができれば、地域の方がふとこころ深く受け入れてくれたのが、本当によかった。



しみず たけひろ
清水 武大 隊員
(長野県出身)

社会福祉協議会と連携し、高齢化の進む集落を中心にボランティア活動を推進しています。土呂部地区の夏の草刈り、冬の雪かきはすっかり定着しました。また、今市高校・今市工業高校のボランティア部と交流し、高校生の若い力が川俣地区の祭礼やイベント等で発揮され、地域の大きな刺激や活力となっています。

人とのふれあいが好きで飲食店で働いていましたが、その場だけでなくもっと繋がりたいと思いました。自分が高校生の時は深く考えなかった地域のことを、ボランティア活動を通して、地域は高齢化が進み10年後はどうなるのかと少しでも考えてもらえたら、やりがいになります。



店長編

柏木光江さん

6回目の女将さんリレーは「日光ろばたづけ鬼怒川店店長」の柏木光江さんです。



5店舗ありますが男性の割合は？

5店舗中男性2名、女性36名です。男性女性それぞれ特性があるので、男性の人材登用があってもいいと思います。

店長としての苦労はどのようなことですか？

人の問題ですね。トップシーズンの人員配置はどうするか、そんな苦労はありますね。

こちらでは若い社員を定着させようと産休・育休を取り入れてますが、他の中小企業にもっと取り入れてもらうにはどうすればよいと思いますか？

今は国の政策として子育て支援が行き届いているので、会社側としても取り入れやすいと思います。子供ができたので仕事を辞めてしまうと、また新たな人を雇い1から育てなければいけないというのは会社にとっても従業員にとってもメリットはないと思うんです。私はこの店舗の従業員が好きなんです。だからこそ色々考えます。共に働く仲間の理解と応援がなかったら出来るものではありません。私達の会社から1つ1つ進めていき、他の会社にも広がっていけばよいですね。

とてもお元気でポジティブな考えをお持ちですが秘訣は？

縁があってここで働いて、皆さん一人ひとり素晴らしい方達に出会い、思いきり演じられる私の舞台がこの場所なんです。頑張ったら必ずステップアップできると強い信念を持っています。それと、お客様に安心安全という良い商品を提供できる。そういう場所で働けるといのはありがたい感謝しています。

今回の女将さんは、藤原地域の藤原智子さんです。

平成26年度 日光市「女性の活躍」応援プロジェクト

『働く女性のためのキャリアデザインセミナー』参加者一同から、女性の就労環境改善を求め、関連機関等へ提案書が提出されました。

市はこれからも、ワーク・ライフ・バランスの観点から、男女共に多様で柔軟な働き方が選択できるよう、各事業所、各団体、市民の皆様と連携し取り組んでいきますのでご協力をお願いします。

提案書

わたしたち、「働く女性のためのキャリアデザインセミナー」（主催：日光市、日光商工会議所）の参加者一同は、このセミナーを通じて日光市における事業所等の職場での女性の働き方と女性が社会で活躍することの意義と必要性を検討してきました。

その結果、女性が地域内の事業所等でより良い就業ができることは、女性たちの自己実現や経済的安定だけでなく、雇用する事業者等にとっても安定的な労働力の確保につながり、また多様なニーズに対応する商品やサービス等の提供、中長期的な経営の安定にも寄与することが確認されました。

さらには、女性がそれぞれの家庭的・社会的条件に応じた就労ができることは、充実した家族生活を促進し、それは地域社会の活性化にもつながることもわかりました。その意味では、事業者が女性が働きやすい職場を形成することは、企業の社会的責任（CSR）であるばかりでなく、持続可能な地域社会や地域での健全な経済活動への積極的な働きかけになることも確認されました。

そこで、私たちは、このセミナーに参加したすべての事業者等の経営や人事に関わる方々と、日光市内の参加できなかった事業者等に対して、今後の更なる女性が就業しやすい職場環境の形成を提案したいと思います。

女性の就労環境の改善は、事業者のみに委ねられるものではありません。このセミナーを主催した日光市、日光商工会議所ももちろんより良い環境整備に尽力します。また、事業者、行政だけでなく、関連する市民セクターや保育所・福祉団体等との連携も推進していきます。

より充実した職場、家庭、地域社会の実現のため、ご協力いただけるよう、お願いいたします。

日光市内各事業所長様、各団体長様、市民の皆様

2014年10月23日

平成26年度日光市「女性の活躍」応援プロジェクト

「働く女性のためのキャリアデザインセミナー」参加者 一同

主催：日光市、日光商工会議所

- * なお、職場改善については罰則規定等はありませんが、主体的な改善努力を評価したいと思います。
- * 優良な取組みについては、広く周知につとめ、企業イメージの向上にもつなげたいと検討しています。

日光市からの お知らせ

◎日光市は平成20年3月15日に「日光市男女共同参画都市宣言」をしました。今年はこの宣言日を言んだ3月9日～15日が「日光市男女共同参画週間」です。

男女ともに職場で、学校で、地域で、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、みなさん一人ひとりの取組が必要です。この機会に「男女共同参画」について考えてみませんか。みんなで一緒に活力ある日光市を築きましょう。

◎平成27年度は、平成28年度からの「男女共同参画プラン日光(第2期計画)」、「日光市配偶者からの暴力対策基本計画(第2期計画)」を策定します。

編集 後記

この度の協力隊の取材を通じ、彼らの何とかして地域の活路を見出すべく努力に敬意を表しますと共に、地元の人々もできる限りの努力をし、引継ぎができたらと、思います。取材に応じて下さった方々、お忙しいところ時間を作っていただきありがとうございました。

【取材・編集】 小林 律(足尾) 神山 悠利(足尾) 赤澤 正之(今市) 星 美智子(今市) 竹下 恵子(今市) 小日向 智(日光) 渡辺 早苗(日光) 荒引 寿子(藤原) 山越 正朗(藤原) 湯澤喜十郎(栗山) 松本 祐子(栗山)

平成27年2月25日発行 【編集】日光市男女共同参画社会づくり広報紙編集委員会 ☆この広報紙は再生紙を利用しています☆

【発行】日光市健康福祉部人権・男女共同参画課 〒321-1292 日光市今市本町1番地 TEL.0288-21-5148 E-mail:jinken-danjo@city.nikko.lg.jp